

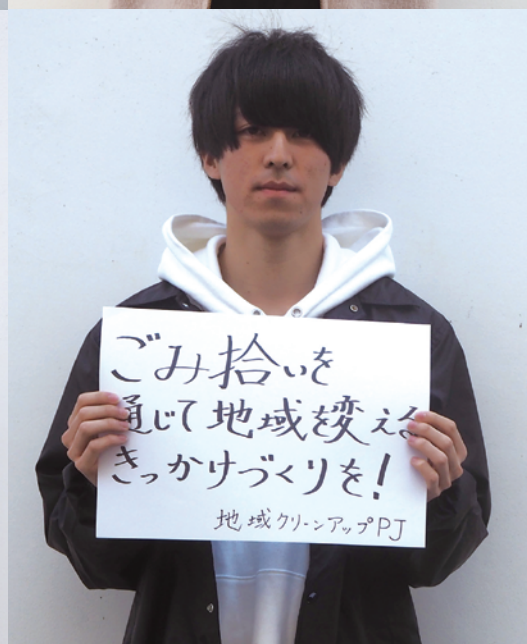
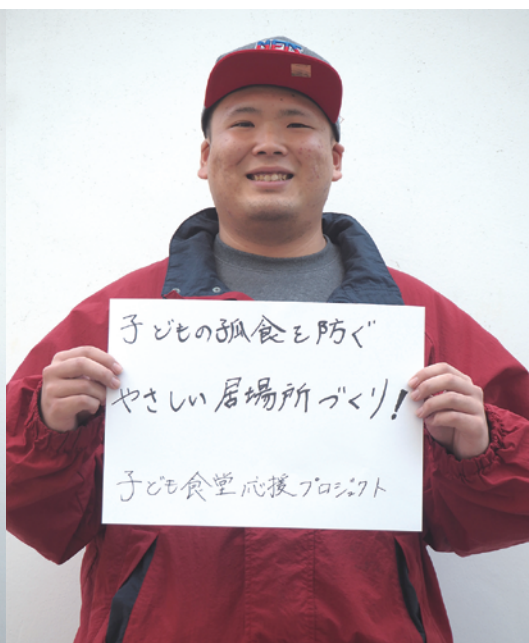
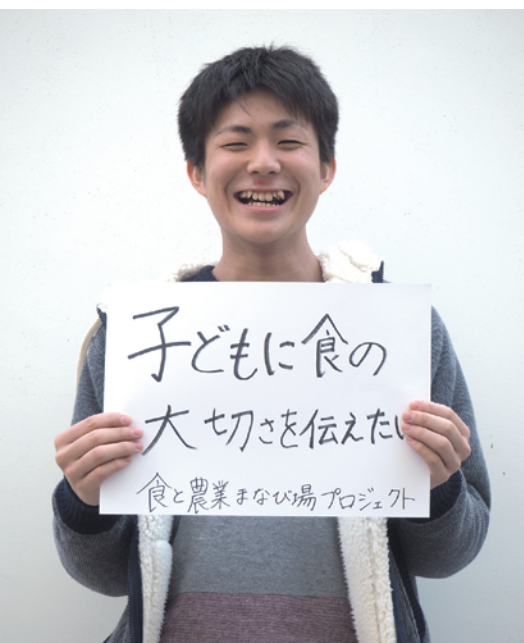


FULL

[フル]

Vol.12

地域につながる。自分をひろげる。



421 Lab.メールに登録して最新情報をGET!

info421@kitakyu-u.ac.jp



STEP1 Plan

事前学習

応える姿勢を整える



STEP2 Do

実践活動

知識に経験を重ねる



STEP4 Action

振り返り研修

自己の成長を確認する



STEP3 Check

発表機会

他者の視点に触れる



4つの
ステップ

「何を考えるか」から「何を学びとるか」へ

近年、学習のカタチが変化し、教員が一方に教える講義スタイルから、社会現場での体験活動に主を置いた実習スタイルが増えてきました。421Lab.でも、被災地の復興や自然環境の保全、伝統文化の継承などの実社会にある身近な課題をテーマとして、専門分野を超えて課題解決に向けた連携が進んでいます。

しかしながら、一般的な実習スタイルでは「体験すること」が目的となりがちであり、本来のねらいである「教育」からずれてしまうこともあります。

421Lab.では、「事前学習」、「実践活動」、「発表機会」、「振り返り研修」というPDCAサイクルを回すことで、学生自身が何を学びとるかを考え、確実に成長するプログラムを備えています。地域活動に関わった学生が取り組んだ課題に興味を持ち、卒業後の進路につながったり、活動で達成できなかった部分を自分の課題として向き合ったりしていくことにつながります。

体験するだけで終わるのではなく、学生が「体験を通して学びとる」ことに注力し、学生の成長を応援します。

REGION × STUDENT

地域と学生を掛け合わせたら何が生まれるのか。その答えを探るために地域で活躍する社会人と学生に本気で語り合ってもらいました。今回は、昨年度立ち上がった三萩野モラル・マナーアッププロジェクト（以下：Clear）について取り上げ、受入先である（有）ケイネットプラン・カワカミの土谷さん（中）、メンバーの津野さん（左）、メンバーの梶原くん（右）に話を伺いました。

地域創生学群2年
津野詩音（Tsuno Shion）

出身:北九州市

所属:運営SF
:ブンガクPJ

趣味:就寝前の
YouTube



（有）ケイネットプラン・カワカミ
土谷一博（Tsuchiya Kazuhiro）

出身:北九州市

業務:プランナー

趣味:スポーツ観戦

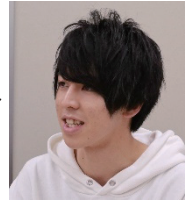


地域創生学群2年
梶原大史（Kajiwara Taishi）

出身:北九州市

所属:運営SF
:地域クリーン
アップPJ

趣味:映画鑑賞



Q.活動内容について教えてください

津野 発足は2017年6月、私たちが1年生の時です。Lab.では一番新しいプロジェクトです。目的は、三萩野バス停の価値向上です。主な活動は週1回の定例清掃で、ゴミ拾いをしながら啓発活動を行ったり、受入先がデザイン会社ということもあり広報活動にも力を入れたりといった活動を行っています。

梶原 他にも現場でのアンケート調査をもとに定例ミーティングを行ったり、そのミーティングで出たアイデアから大規模清掃や早朝清掃を企画して実践したりします。活動内容としてはゴミ拾いをやっているけど、ゴミ拾いをやるだけのプロジェクトじゃないんです。

Q.学生とプロジェクトをしようと思ったきっかけは何ですか？

土谷 三萩野のバス停はタバコのポイ捨てが多く、ゴミも散乱していて、非常に悪いイメージでした。そこで看板を設置するだけではなく根本から解決できないかと考え、北九州市立大学の学生と取り組みたいと思ったのがきっかけでした。北九大とは元々ご縁があり、学生さんと関わることも多く、優秀な人や実直、誠実な人が多いというのは知っていたので、プロジェクトとして一緒に取り組むことで清掃活動だけでなく、広告屋として約20年やってきたノウハウを通じて学生の皆さんの役に立つ知識をお伝えしたいと思ったからです。

Q.活動をやってきて、見えてきた課題を教えてください。

津野 活動の認知度を上げたいですね。ゴミを拾う人がいなくなってもゴミがない状態を維持するためにどういう仕組み作りをしたらいいのかというのが課題だと思います。また後輩が入ってきたことで、後輩達が動きやすいようにするにはどうしたらいいのか、プロジェクトとしての環境づくりをリーダーはもちろん自分もできたらいいと思います。



土谷 私は、このプロジェクトが地域に誇れる存在になって欲しいという思いがあります。北九州市は人口減少という大きな課題がありますよね。その中でClearというプロジェクトが起点となり、北九州に行ってみよう、北九大に入りたいたいといった人が増えていくようなブランドになってくれればいいなと思っています。地元で生まれ育って地元で就職した人間としては、そういう大学になって欲しいし、そういう大学が地元にあるのは嬉しいと思います。だからこそ地域が誇れる存在になって欲しい、これはClearだけじゃなく大学にも言えると思います。

Q.地域活動に興味関心のある読者に一言お願いします。

梶原 授業・サークル・バイト等から学べることもありますが、地域活動で学べるものは他では学ぶことのできない内容が多い気がします。地域活動で学んだ知識は様々な場面で応用が利きます。やって損はありません。また活動していて自分自身楽しいと感じるので大学生活も充実しているという実感があります。このプロジェクト以外にも色々なプロジェクト活動があります。自分の興味あるものに関連したプロジェクトを選べるというのも421Lab.の魅力の1つでもあるので、ぜひ一度421Lab.を訪ねてください。

土谷 大規模清掃に娘を参加させたことがあるんですけど、そこで学生さんがすごく良くしてくれて、娘とも北九大っていいねと話をしました。同じように地域活動をしていると色々な地域の方と接すると思います。そこで北九大のファンを増やしてほしいです。いい観光都市はそこに住んでいる一人ひとりが自分がまちの代表といった覚悟というか、そういう気持ちを持っています。だから学生さんが地域活動をするときは北九大の代表になります。そこでしっかりした態度だったり活動をすれば一人を通してファンを増やせます。だからと言って身構えてやれとは言いませんけどね。

- インタビュー
尾澤あかり（地域創生学群1年）
- カメラマン
武氣優花（経済学部1年）



北九州市立大学
地域共生教育センター(421Lab.)
Regional Symbiosis Education Center

PROJECT 2019

2019年度 地域活動 プロジェクト紹介

発行 北九州市立大学地域共生教育センター
発行日 2019年3月
編集 北九州市立大学地域共生教育センター
協力 プロジェクトに参加していただいている多くの皆さま

01

421Lab.学生運営スタッフ

組織運営

地域とつながり、学生をつなげる



「421Lab.学生運営スタッフ」は、多くの北九大学生に地域活動を通して貴重な学びを得てもらうために活動しています。地域活動の魅力を発信し、活動しやすい環境を整えることを通じて、より多くの北九大学生に地域活動へ参加してもらえるように頑張っています。また、地域活動に参加している学生にとって、より充実した学びを得てもらうためのサポートも行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- 誰かのために頑張りたい人
- マネジメント能力を身につけたい人
- いろんなことに取り組みたい人

おもな活動場所 北九州市立大学

昨年度参加人数 53人

活動頻度
月に10~15回程度のミーティング
(週1回全体ミーティング)
活動は主に月~金(月に1~2回程度土日の活動あり)

02

東日本『絆』プロジェクト

被災地支援

東日本大震災を忘れず、長い支援を！



私たちの生活の場である北九州市から、被災地に対して出来ることはないかという事を一人一人が意識し、活動の中でどのように取り入れていくのか、メンバーで協力して形にしています。受け入れ先である、「お好み焼き いしん」さんと一緒に、小倉発祥焼うどんと東北の岩手県釜石産のイカを使用した「絆焼うどん」の出店活動も精力的に行なっています。

✔ こんな人におすすめ！

- 震災からの復興支援に興味がある人
- 支援活動の企画・実践・発信に興味がある人！
- 絆焼うどんを焼いてみたい人!!

おもな活動場所 北九州市

昨年度参加人数 13人

活動頻度
週に1回のミーティング、
月1回の活動

03

防犯・防災プロジェクト (MATE's)

防犯・防災

防犯・防災意識向上の“きっかけ”づくり



「北九州を学生の視点から安全・安心なまちにしたい」そんな想いから、防犯・防災という切り口で活動を行っています。犯罪や災害はいつどこで発生するかわかりません。そういった中で、一人ひとりが他人事ではなく、自分事として考え、万が一の時ベストな行動がとれるよう、防犯・防災の側面から地域コミュニティの活性化を図るプロジェクトです。

✔ こんな人におすすめ！

- 防犯や防災に少しでも興味がある人
- 人と関わるのが好きな人
- やりがいを感じられる活動がしたい人

おもな活動場所 北九州市内の小・中学校や市民センター、朝倉市等

昨年度参加人数 41人

活動頻度
月2回の定例ミーティング、
平均月4・5回の活動

04

ハッピーバースデー プロジェクト

子ども・教育

子どもたちが成長できる誕生日会をつくるために
～ゼロから作る特別な誕生日会～



児童クラブには保護者の方の仕事の関係で放課後を家庭で過ごすことができない子どもたちが多くいます。そのため、子どもたちに少しでも楽しく特別な時間を過ごしてほしいという思いからプロジェクトがスタートしました。現在は、大学生が月に一度、東朽網放課後児童クラブを訪問し、自分たちでゼロから企画、運営する誕生日会を開催しています。

✔ こんな人におすすめ！

- 子どもと接するのが好きな人
- 工作、絵が好きな人
- 子ども達が喜ぶ誕生日会を企画するのが好きな人

おもな活動場所 東朽網放課後児童クラブ

昨年度参加人数 16人

活動頻度
誕生日会 第3水曜日
準備 毎週水曜日の3～5限

05

『食』から学ぼうプロジェクト

食育・環境

持続可能な食を ～作って食べて、語り合う～



私たちは「若者の食に対する意識を高める」ということを目的とし活動を行っています。実際に活動を通して、大学生自らも健康的な食生活を送るためのスキルや知識の獲得をしていきます。今年度は子ども食堂で調理を担当し、地域の小学校へ赴き小学生に食育活動をしたりしました。また学生自身の食生活改善のため調理実習を行い、「マイ弁当デー」と題し、学生手作りのお弁当を持ち寄りSNSに投稿し活動を発信しています。

✔ こんな人におすすめ！

- 調理が好きな人、やってみたい人
- 食べることが好きな人
- 食への関心がある人

おもな活動場所 北九州市立大学

昨年度参加人数 11人

活動頻度 ミーティング：毎週
平成30年度は月に1回活動を実施

06

地域クリーンアッププロジェクト

環境活動

共に拾おう、共につくろう



清掃活動を通じて地域を変えるきっかけ作りを目的に活動をしています。主に大学周辺の北方校区で地域の方と一緒に定期的な清掃活動（green bird）を実施しており、清掃活動の運営やイベントの企画などを行っています。また、小倉北区馬島の漂着ゴミの清掃活動や島の魅力発信など、様々なフィールドで活動に取り組んでいます。

✔ こんな人におすすめ！

- 環境問題に関心があり学びたい人
- 積極的に清掃活動に参加し、継続して取り組む事ができる人
- 幅広い年代の方と関わってみたい人

おもな活動場所 北方校区
北九州市小倉北区馬島

昨年度参加人数 39人

活動頻度
毎週金曜日・第3土曜日に定例活動
月に数回土・日に活動

07

青空学プロジェクト

環境啓発

私たちができることを学生目線で考える



青空学プロジェクトは、環境という大きな分野のなかで私たちができることを考え、企画し、実行します。主な活動としては、地域の方々に対する北九州市の公害に関するインタビュー活動、環境学習研修への参加、環境シンポジウムの企画・運営に学生スタッフとして参加することなどです。活動を通じては、環境分野への関心や知識が深くなるだけでなく、北九州市の多岐にわたる魅力を発見することができます。

✔ こんな人におすすめ！

- コミュニケーション能力を向上させたい人
- 環境分野に興味がある人
- 「何か」始めたい、挑戦したい人

おもな活動場所 北九州市立大学
東田環境ミュージアム

昨年度参加人数 7人

活動頻度
毎週水曜定例ミーティング
(イベントやMTGによって変更があります)

08

「ブンガクの街北九州」 発信プロジェクト

地域振興・
文学

日常に文学を



森鷗外や松本清張など、北九州市にゆかりのある作家は多くいます。しかし、そうしたことを知らない若者の多くは、北九州市の文学的側面に注目することが多くありません。私たちブンガクPJは、若者の「文学って古い、固い、難しい」といったイメージを変え、「文学」を新たな北九州市のブランドとしていくために活動をしています。

✔ こんな人におすすめ！

- 文学好きな人！（全ジャンルok）
- イベントの企画運営に興味がある人！
- 新しいことに挑戦してみたい人！

おもな ミーティングは学内、

活動場所 イベントは京町を中心とした地域

昨年度参加人数 14人

活動頻度 ミーティング：毎週木曜（1コマ）

イベント：2か月に1回程度

受け入れ先で月2回程度ミーティング

09

国際交流プロジェクト FIVA

国際交流企画

笑って、学んで、楽しむ。北九州市で国際交流



北九州市に日本の技術を学びに来るJICA研修員やYMCA日本語学院で日本語を学ぶ留学生たちが、日本の滞在期間に充実した時間を過ごしてもらうために、それぞれの対象者に応じたイベントの企画、準備、運営を行っています。自分たちで一から企画することで、交流作りの楽しさ、やりがいを感じることが出来ます。また、地域住民を巻き込んで多文化共生の心を育むことを目標としています。

✔ こんな人におすすめ！

- 国際交流・多文化共生に興味がある人
- イベントを企画するのが好きな人
- 綿密な準備ができる人

おもな 北九州市内各所

活動場所

昨年度参加人数 35人

活動頻度

ミーティングなど：毎週木曜日昼休み

イベント：月1～2回程度

10

食べる国際貢献プロジェクト TFT

国際貢献

20円で世界を変える

～あなたにもできる「食べる国際貢献」～



世界では全人口70億人のうち、20億人が肥満に苦しむ一方、10億人は飢餓に苦しんでいる食の不均衡が問題となっています。これを解決するために、私たちは食堂でTABLE FOR TWO(TFT)メニューを販売し1食につき20円を途上国の子供たちの給食1食分の寄付金として届ける活動を行っています。主に、生協食堂との協力で月1回のTFTフェアの開催・広報活動を行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- 国際貢献に関心のある人
- 食に関心のある人
- 目標を持ち、持続的に活動できる人

おもな 生協食堂、421Lab.

活動場所

昨年度参加人数 14人

活動頻度

毎週1回 休休みにミーティング

土日祝 ×

11

学生・いぬねこを守る会

動物愛護・
啓発

知ってください。彼らのいのち。



私たちは「NPO法人・門司港レトロ犬猫を守る会」の方々から協力するという形で、捨てられた犬たち・野良として生まれた猫たちを新しい飼い主さんと結びつける活動をしています。譲渡会・野良猫シェルターの運営を月1シフトで行ったり、年に数回、紙芝居などで子どもたちへの啓発活動などを行ったりしています。

✔ こんな人におすすめ！

- 「動物が好き」だけでなく「彼らのために何かをしてあげたい」と思えるような人
- 動物たちに関する環境や法律に興味がある人

おもな 門司港、カフェ併設型猫シェルター・

活動場所 PUSA(須賀町)

昨年度参加人数 15人

活動頻度

毎週火曜昼ミーティング、

月一シフト制で実地活動

12

子ども食堂応援プロジェクト

子ども・教育

おなかも心も満たされる、あたたかい居場所づくり



仕事等で保護者の帰宅が遅くなる家庭の孤食を防ぎ、子どもたちが「たのしいま」と言える居場所を提供することを目的に子ども食堂を開設しています。私たち子ども食堂応援プロジェクトは子どもとご飯を食べるだけではなく、子ども一人一人に合わせた学習支援や子どもと一緒に遊んだり、時にはお楽しみ会を企画したりと様々なアプローチから子どもの居場所を作ることを目指しています。

✔ こんな人におすすめ！

- 勉強を教えたり、一緒に遊んだりなど、子どもと交流してみたい人
- 体を動かすことや食べることが好きな人
- 企画や運営に携わりたい人

おもな活動場所

尾倉市民センター、日明市民センター、小倉中央市民センター

昨年度参加人数 30人

活動頻度 (尾倉) 第2・4週 水曜17:00~(日明) 毎週木曜 17:00~(あんず) 第4週 金曜17:00~

13

平和の駅運動プロジェクト

平和・人権

楽しく平活ing



私たちは、小倉祇園太鼓を用いて音楽で平和活動を行っている団体です。一年間を通じて活動を行っており、夏は8月6日~8月15日にかけて北九州市や長崎市でイベントを開催し、小倉から長崎までの230kmを自転車でリレーをするという活動をしています。冬には、北九州市内の小中学校に行き、コミュニケーションを大切に平和学習を行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- 平和活動に興味がある人
- 小倉祇園太鼓・自転車に興味がある人
- 自分で企画、運営を行ってみたい人

おもな活動場所

北九州市、長崎市、鳥栖市

昨年度参加人数 7人

活動頻度 週2日、月16時間程度活動

14

三萩野バス停モラル・マナーアッププロジェクト Clear

環境活動

課題解決で価値向上 ~Clearをめざして~



高速バスの昇降口であり北九州の玄関口とも呼ばれている三萩野バス停ですが、ごみが散乱して薄暗く、利用者が気持ちよく使える場所ではありませんでした。これらの問題を解決し、三萩野バス停の価値を向上させるために、「有限会社ケイネットプラン・カワカミ」とさんと協同して、毎週のごみ拾い活動や啓発活動・広報活動を行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- アイディアを形にしたい人
- 課題解決について実践で学びたい人
- 広告関連の専門知識をつけたい人

おもな活動場所

三萩野バス停(2番乗り場)周辺

昨年度参加人数 10人

活動頻度 週に1回の定例清掃活動 毎週一コマの学内ミーティング

新規

15

キャンパスSDGsプロジェクト

環境活動

持続可能な社会を築くために、私たちができること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsとは、国連が採択した持続可能な社会を築くための17個の開発目標のことで、2030年までに達成すべき努力目標として、今世界中で様々な取組が行われています。本プロジェクトでは、学内で既に取組まれているSDGsに資する活動を取材して世間に発信したり、北九州SDGsクラブに所属して、企業や行政と連携して、SDGsを普及していくためのイベント開催をしたりします。

✔ こんな人におすすめ！

- 社会課題の解決に広く興味がある人
- 多様なステークホルダーと関わりたい人
- 積極的に動くことが好きな人

おもな活動場所

北九州市立大学 北九州市内

活動予定人数 5人

活動頻度 週に1度のミーティング、2~3か月に1度のSDGs普及イベントの開催

16

オープンキャンパスプロジェクト

大学PR

北九大大生が北九大大の魅力を全力でPR!



オープンキャンパスの企画・運営を行うプロジェクトです。学生の視点から、高校生や保護者の方に北九州市立大学の魅力を伝えます。広報活動から当日の運営、配布物の作成など活動内容は多岐にわたります。活気あふれる大学の姿を学生自らがアピールすることで、「この大学に通いたい!」と思ってもらうことを目的に活動を行っています。

 こんな人におすすめ!

- 何か新しいことを始めたい人
- チームワークを発揮し目標を達成したい人
- 企画力・調整力を高めたい人
- 社会人のマナーを身に付けたい人

おもな活動場所 北九州市立大学
本館13階会議室他

▶ 昨年度参加人数 47人

活動頻度 月～金 ○
土日祝 △

17

「キャリアーナ」プロジェクト

就活情報

北九大大生による、北九大大のための就活情報誌



北九大大生へ就職活動に関する情報を提供するフリーペーパー「キャリアーナ」を発行しています。企画から企業への取材交渉、印刷業者との発行のやり取りまでをメンバーが自主的に行っており、学生の目線で就職活動について情報提供しています。これまで多くの学生や職員、社会人の方々に取材を行ってきました。

 こんな人におすすめ!

- 様々な企業・業界の方の話を聞きたい人
- 取材や編集、デザインの仕事を経験したい人
- 出版業界や新聞社などに興味がある人

おもな活動場所 北九州市立大学キャリアセンター
学外

▶ 昨年度参加人数

夏号 12人、冬号 7人、業界マップ号 6人

活動頻度

月～金 ○(週1回程度)
土日祝 △(活動によって土日に取材)

18

JOB × Project

就活イベント

企業選定から企画・当日運営まで全てを北九大大生で行う合説!!



JOB×Projectでは、業界研究を行う学内合同企業セミナー「JOB×Lab.」、及び学内合同企業説明会「JOB×HUNTER」の企画・運営を行います。企業等の誘致を行う「営業」を全員で行い、その後はイベントの企画や学生への広報活動と冊子作成、当日の運営などの3つの班に分かれて活動します。企業の方と接することで自らの将来を描き成長できるプロジェクトです。

 こんな人におすすめ!

- 何かに挑戦し自分を成長させたい人
- 就職活動に向けた準備がしたい人
- 信頼できる友人を作りたい人

おもな活動場所 北九州市立大学

▶ 昨年度参加人数

JOB×Lab. 15人、JOB×HUNTER 33人

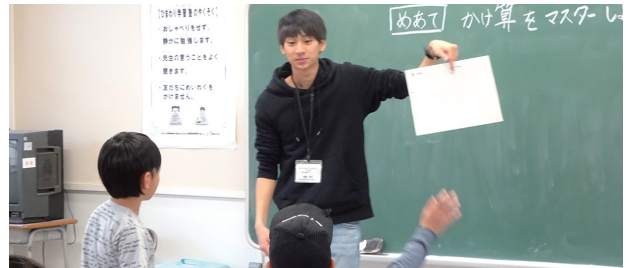
活動頻度 月～金 ○(週1回ミーティング)
イベント開催直前はミーティングが増えます

19

桜丘小学校学習支援プロジェクト

子ども・学習支援

とにかく深く! 児童の学力向上に貢献!!



小倉北区の桜丘小学校にて、児童の学習支援を行っています。活動では、担任の先生と一緒に、通常行われている授業に参加し「TA=アシスタント・ティーチャー」として、子どもの理解をサポートする役割を担っています。その他にも、特別支援学級に入り生活支援を行ったり、地域探検では、まち歩きの際の安全確保の役割を担ったりもします。

 こんな人におすすめ!

- 教員免許取得を目指している人
- 子どもが好きの人
- 子どもの学習支援に興味がある人

おもな活動場所 北九州市立桜丘小学校

▶ 昨年度参加人数 8人

活動頻度 月5時間程度

小学校の時間割に自分の空き時間を合わせて自分でスケジュールを調整できるので、とても参加しやすい活動です。

災害時緊急支援チーム

災害発生時には行政や社会福祉協議会からのボランティア要請に迅速に応え、災害ボランティアセンター(通称:災害VC)の運営等に携わります。

おもな活動内容 ・4月 登録者募集 ・6月 研修① 災害ボランティアについて
・11月 研修② 救命講習(消防による修了証交付)

※災害が発生し、派遣が決まった際には、研修日程や内容等が変更になることがあります。

若園保育所「英語で遊ぼう」

園児を対象とした、遊びを交えて英語に親しみ、学んでもらう活動です。笑顔で参加してくれる子どもたちと一緒に英語を楽しんでくれる人を募集します。※月1回活動+準備日

おもな活動内容 ・絵本の読み聞かせ ・ゲーム
・季節行事などを通じた英語学習

施設での学習支援

様々な事情を抱えている小中学生に対して学習支援を行い、自主的な学習の定着と学力の向上を目指します。

おもな活動内容 ・宿題や予習・復習を行う
・学校の授業の流れに沿って解らないところを学習

※小学生は国語・算数の2教科、中学生は国語・数学・英語の3教科